

# 北海道サービス管理責任者更新研修・児童発達支援管理責任者更新研修

## シラバス

### 【講義日程】

時 間	内 容
60分	障害者福祉〔児童福祉〕施策の最新の動向

### 【演習日程】

#### 1日目

時 間	内 容
10:30~12:00	【演習1】事業者としての自己検証
12:00~12:50	(お昼休み)
12:50~14:50 (10分休憩)	【演習2】サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者としての自己検証
15:00~16:30 (10分休憩)	【演習3】関係機関との連携

※上記の詳細及び時間割は、変更となる場合があります。

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【講義日程】 障害者福祉〔児童福祉〕施策の最新の動向
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義①障害者福祉〔児童福祉〕施策の最新の動向
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	又村 あおい
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者福祉及び児童福祉施策の最新の動向を理解する</li> <li>・ 現場に必要とされる最低限の制度に関する知識を確認する</li> <li>・ 制度理解に関する自己把握と、情報を得るための手段を理解する</li> </ul>
○	8 教科の概要	障害福祉サービス、障害児支援サービスの種類やその概要、相談支援の仕組みについて最新情報を踏まえて説明をする。最近改正や新設のあったものなど、変更点については変更点の背景や趣旨などについても理解できるよう説明を行う。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修全体のねらい、障害福祉施策の全体像及び最新の動向等（55分）</li> <li>・ 理解度テスト（5分）</li> </ul>
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習】 事業者としての自己検証
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	事業者としての自己検証（演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・自らの事業所の状況や取り組みを振り返り、社会的な役割や事業の目的、コンプライアンスを再認識する。 ・地域や社会の状況、障がい当事者のニーズを踏まえ、事業所に求められる役割を理解することができる。
○	8 教科の概要	事前の振り返りシートをもとに、グループワークを通じてそれぞれの事業所の状況や地域のニーズについて振り返るとともに、現場に持ち帰ることを確認します。
○	9 授業方法	グループワークによる演習
○	10 授業計画	・事前課題の確認・共有（30分） ・それぞれの報告についての意見交換（40分） ・グループワークの成果報告、共有（20分）
○	11 準備学習	事業所や地域の状況を把握するための自己検証用事前シートを作成し、事前提出
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習】 サービス管理責任者としての自己検証
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス管理責任者としての自己検証
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	120分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らのサービス管理責任者としての状況や取り組みを振り返り、長所短所、役割や使命を再認識し、自己覚知を促すことができる。</li> <li>・地域や社会の状況、障がい当事者や家族のニーズを踏まえ、サービス管理責任者に求められる役割を理解することができる。</li> </ul>
○	8 教科の概要	事前の振り返りシートをもとに、グループワークを通じてそれぞれ自らの障がい福祉従事者としての状況や求められる役割について振り返るとともに、現場に持ち帰ることを確認します。
○	9 授業方法	グループワークによる演習
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前課題の確認・共有（30分）</li> <li>・それぞれの報告についての意見交換（60分）</li> <li>・グループワークの成果のまとめ、共有（40分）</li> </ul>
○	11 準備学習	事業所や地域の状況を把握するための自己検証用事前シートを作成し、事前提出
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習】 関係機関との連携
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	関係機関との連携
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置 真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス提供における連携の重要性と必要性を再認識し、その具体的な方法について理解する</li> <li>・ (自立支援)協議会の役割や活用法について具体的にイメージし、実践に活かすことができる</li> </ul>
○	8 教科の概要	事前の連携事例シートをもとに、グループワークを通じてそれぞれの連携についての理解や実践について振り返るとともに、現場に持ち帰ることを確認します。
○	9 授業方法	グループワークによる演習
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前課題の確認・共有 (30分)</li> <li>・ それぞれの報告についての意見交換 (40分)</li> <li>・ グループワークの成果報告、共有 (20分)</li> </ul>
○	11 準備学習	連携の実践や理解を把握するための事例シートを作成し、事前提出
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』
	13 注意事項	
	14 参照リンク	